

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 2日

事業所名 放課後等デイサービスゆにこ瀬田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1Fと2Fで空間を分けられるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者さんが主体的に活動へ参加できるように職員数を調整している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		外階段に雨水が溜まらないようにしている。滑り止めマットを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		各職員がPDCAサイクルシートを作成し、業務にあたっている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		送迎時、引継ぎ情報共有をしつつ、業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人のホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		関係機関の方に来所いただいている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部だけでなく、内部でも研修を行なっている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		支援員間で支援の方向性を話し合っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを作成し、都度更新している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		年度初めに支援年間計画作成、月1回全職員で立案を行なっている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		1週間に1度活動プログラムの見直しを行なっている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用者ニーズに合わせた活動設定を行なっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動は、少人数と大人数の2パターンに分けることもある。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		開所日は毎回おこなっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		閉所日は毎回おこなっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		各利用者ごとに支援記録を作成し、職員間で共有している。	
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング、計画見直し時には、職員間で話し合っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインを職員に配布し、意識できるようにしている。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議前に職員で情報共有してから参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校へ事業所の取り組みを伝え、円滑に利用できるように努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		事業所内に医療的ケアが必要な子どもがいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	現在関係している機関と連携を行っている。	適宜、情報共有と相互理解に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		適宜、会議へ参加している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		関係機関と連携する時、研修案内等の情報を尋ねている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		近隣の児童館へ声をかけていたが、コロナ対応で難しくなっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		会議へ参加し、課題等伝えている。今年度はコロナ対応でテレビ通話でやりとりを行った。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		帰りの送迎時、活動の様子や学校からの引継ぎ事項等伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		計画見直し時、適宜保護者と話し合っている。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		活動の詳細を行事予定表に伝えたり、送迎時に説明を行ったりしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		資料を用いて、なるべくわかりやすくなるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		法人内で検討を行なう。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		責任者と報道相しながら対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月1回行事予定表を作成して全利用者へ配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		日頃から個人情報の取り扱いに注意する声掛けをしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		相談室を設置し、空間への配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		自治会へ声をかけていたが、コロナ対応で難しくなっている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	毎年4月下旬頃、マニュアルを共有する機会を設けている。	防犯マニュアルを策定し、全体に周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎日利用がないので、訓練週間を設け、全利用者が訓練できるようにしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部の虐待防止・人権擁護研修に毎年参加している。内部でも定期的に行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束を行なうことがないように、子たちの気持ちに寄り添い、理解に努めている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		全職員で共有し、安全面に配慮している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		年度ごとに反省会を開き、意識している。	